



茨城労働局発表
平成26年9月30日

【照会先】
茨城労働局雇用均等室
室長 井上 礼子
室長補佐 辺田 幸子
(直通電話) 029-224-6288

平成26年度「均等・両立推進企業表彰」受賞企業決定

～10月29日「女性の活躍推進セミナー」を開催、表彰式と事例発表を実施～

茨城労働局では、このほど、平成26年度「均等・両立推進企業表彰」茨城労働局長優良賞（均等推進企業部門）の受賞企業として、株式会社カスミ、東京フード株式会社を選定しました。

「均等・両立推進企業表彰」は、女性の能力を発揮させるための積極的な取組（ポジティブ・アクション）や、仕事と育児・介護との両立を支援する取組を行って、他の模範となるような企業を表彰する制度で、平成11年度から実施しています。表彰によりその取組を広く周知し、男女ともに職業生活の全期間を通じて能力を発揮できる職場環境の整備を促進することを目的としています。

また、表彰式と受賞企業の事例発表を10月29日に開催される「女性の活躍推進セミナー」において行います。

均等推進企業部門 茨城労働局長優良賞

◆株式会社カスミ（つくば市）

◆東京フード株式会社（つくば市）

【女性の活躍推進セミナー】

日時：平成26年10月29日（水）13:30～14:30

場所：ホテルレイクビュー水戸（水戸市宮町1-6-1）

内容：表彰式及び受賞企業の事例発表

*当日、受賞企業への取材を希望される場合は、事前に雇用均等室までお問い合わせください。

<添付資料>

- 1 株式会社カスミの取組状況
- 2 東京フード株式会社の取組状況
- 3 「均等・両立推進企業表彰」実施要領（概要）
- 4 茨城県内の「均等・両立推進企業表彰」受賞企業一覧
- 5 女性の活躍推進セミナー&改正パート法説明会
- 6 女性が輝く社会の実現に向けて
- 7（参考）男女間の格差等について

均等推進企業表彰 茨城労働局長優良賞

株式会社カスミ

所在地：茨城県つくば市 業種：小売業 従業員数：約13,000人

**「女性かがやき委員会」を設置し、女性の活性化について検討を行い、
女性の管理職育成のための教育プランを提言。
女性管理職6名増加、部長職に女性2名を初めて登用**

1 ポジティブ・アクションの取組体制

- ◇平成19年度より「女性活性化」を企業戦略の重要項目に位置づけ、平成19年6月に社長を委員長とする「女性かがやき委員会」を発足
- ◇委員会では、女性が活躍できる職場環境の確立を目指し、全社から女性の管理職候補者を発掘すること、基礎的な教育から最高位の役職までの体系的な教育プランを作ること及び仕事と家庭が両立できる店舗運営を提案
- ◇平成24年3月には「女性かがやき委員会再構築案」を提言。新たな目標（職域拡大、店長職の増加、部長職・役員の出陣など）が設定された。

2 ポジティブ・アクション取組内容

- ◇会社案内や自社のHPにおいて、活躍している女性を積極的に紹介
- ◇女性社員が活躍する職種を増やすため、ジョブローテーションを実施
- ◇管理職登用について、数値目標（部長登用含めて30名）を明示
- ◇全社から管理職候補の女性を推薦する制度を設けて人材を発掘
- ◇女性管理職の候補者を対象に、「女性かがやき委員会」が決めたカリキュラムに沿って「女性管理者セミナー」を毎年実施
- ◇子育て支援制度を拡充、転居を伴う異動免除制度を導入

3 ポジティブ・アクションの取組の成果

- 正社員の採用において、女性比率が増加
 - ・平成23年 39.2% → 平成25年 48.4%
 - 男性が多い職域での女性の配置が増加
 - ・鮮魚部門：平成23年 20名（5.4%）→平成25年 26名（6.5%）
 - ・青果部門：平成23年 38名（13.8%）→平成25年 44名（14.7%）
 - 女性役職者が増加
 - ・係長クラス：平成24年 15名（5.8%）→平成26年 17名（6.1%）
 - ・課長クラス：平成24年 8名（3.4%）→平成26年 10名（4.0%）
 - ・部長クラス：平成24年 0名（0.0%）→平成26年 2名（5.3%）
- （注）各年1月1日現在の数値です。

4 その他

- 次世代育成支援対策推進法に基づく「くるみん」認定 2007年 2012年

均等推進企業表彰 茨城労働局長優良賞

東京フード株式会社

所在地：茨城県つくば市 業種：製造業 従業員数：約430人

**女性の活躍を推進するための「女en会」活動、女性リーダー研修等を実施
女性社員の意識改革、職域拡大、管理職登用が進む**

1 ポジティブ・アクションの取組体制

- ◇社長の方針により、平成22年から総務部を中心に検討開始。
- ◇平成25年1月の経営会議で、**社長が女性の管理職登用の方針を表明**
- ◇平成25年11月、厚生労働省の「女性の活躍推進応援サイト」に登録、取組内容を公表

2 ポジティブ・アクション取組内容

- ◇男女問わず個人重視の採用を行うため、採用担当に男女を任命。自社HPに活躍する女性を紹介。
- ◇面談で異動希望を把握、男女問わず能力に応じたジョブローテーションの機会が増加。
- ◇**平成24年9月、女性の活躍を推進するための「女活」ランチミーティング活動を発足（平成25年に「女en会（女性のenjoy）」へ変更）。グループ活動を通してリーダーを育成。**
- ◇「女en会」活動のディスカッションで集約した提言を管理職及び社長の前で発表。
- ◇**平成25年の経営会議で女性管理職登用の数値目標（平成27年女性管理職比率15%）を表明**
- ◇女性リーダー研修（グループ企業合同の研修、外部講師による社内研修など）を実施
- ◇**平成22年11月、イクエン委員会（育児と仕事の両立を応援する委員会）を設置。**社員アンケートの実施、妊娠中・産休前・復帰後のイクエン面談、情報発信など、継続就労のための取組を実施

3 ポジティブ・アクションの取組の成果

- ◇男性が多い生産現場に女性が増加
 - ・平成24年 24名（18.5%） → 平成26年 29名（20.7%）
 - ◇**女性の役職者が増加**
 - ・次長1名、課長1名、上級主任3名を新たに登用
 - ◇ミーティングや会議への女性参画が増加し職場全体が活性化
- （注）各年1月1日現在の数値です。

「均等・両立推進企業表彰」実施要領（概要）

1 趣旨・目的

我が国では、男女ともにそれぞれの職業生活の全期間を通じて持てる能力を発揮できる職場環境を整備することが求められている。このためには、企業が「女性労働者の能力発揮を促進するための積極的な取組」及び「仕事と育児・介護との両立支援のための取組」のそれぞれについて、その相乗効果を生かしつつ、推進することが必要である。

このため、「女性労働者の能力発揮を促進するための積極的な取組」又は「仕事と育児・介護との両立支援のための取組」について、他の模範ともいふべき取組を推進している企業を表彰し、これを広く国民に周知することにより、上記のような職場環境の整備の促進に資する。

2 表彰の種類

(1) 均等・両立推進企業表彰

厚生労働大臣最優良賞

(2) 均等推進企業部門

厚生労働大臣優良賞

都道府県労働局長優良賞

都道府県労働局長奨励賞

(3) ファミリー・フレンドリー企業部門

厚生労働大臣優良賞

都道府県労働局長優良賞

都道府県労働局長奨励賞

3 表彰の対象

(1) 均等・両立推進企業表彰

厚生労働大臣最優良賞

男女ともにそれぞれの職業生活の全期間を通じて持てる能力を発揮できる職場環境を整備する企業として、特に他の模範ともいふべき取組を推進し、その成果が顕著である企業

(2) 均等推進企業部門

ア 厚生労働大臣優良賞

女性の能力発揮を促進するために、他の模範ともいふべき取組を推進し、その成果が認められる企業

イ 都道府県労働局長優良賞

地域において、女性の能力発揮を促進するために、他の模範ともいふべき取組を推進している企業

ウ 都道府県労働局長奨励賞

地域において、女性の能力発揮を促進するための取組を推進していると認められ

る企業

(3) ファミリー・フレンドリー企業部門

ア 厚生労働大臣優良賞

仕事と育児・介護が両立できる様々な制度を持ち、多様でかつ柔軟な働き方を労働者が選択できるような他の模範ともいうべき取組を推進し、その成果が認められる企業

イ 都道府県労働局長優良賞

地域において、仕事と育児・介護が両立できる様々な制度を持ち、多様でかつ柔軟な働き方を労働者が選択できるような他の模範ともいうべき取組を推進している企業

ウ 都道府県労働局長奨励賞

地域において、仕事と育児・介護が両立できる様々な制度を持ち、多様でかつ柔軟な働き方を労働者が選択できるような取組を推進していると認められる企業

4 募集及び応募

- (1) 募集は年1回、公募により行うものとし、対象は、「均等・両立推進企業表彰基準」(以下「表彰基準」という。)を満たす企業とする。
- (2) ファクシミリ又は郵送にて送付された応募用紙は、各都道府県労働局雇用均等室において受け付ける。なお、応募は電子申請でも受け付ける。

5 選考及び決定の方法

- (1) 応募書類の審査を行った後、都道府県労働局雇用均等室が、取組内容等の詳細についてのヒアリングを実施する。
- (2) 都道府県労働局長は、ヒアリング結果を基に、表彰基準を満たす企業の中から、都道府県労働局長賞の受賞企業及び厚生労働大臣賞の候補企業を決定し、厚生労働大臣に対し、厚生労働大臣賞候補企業の推薦を行う。
- (3) 厚生労働大臣は、推薦された企業の中から、厚生労働大臣最優良賞及び厚生労働大臣優良賞の受賞企業を決定する。

茨城県内の「均等・両立推進企業表彰」受賞企業一覧

	均等・両立推進企業表彰	
	均等推進企業部門 (女性労働者の能力発揮を促進するために、他の模範ともいべき取り組みを推進)	ファミリー・フレンドリー企業部門 (仕事と育児・介護との両立支援において、他の模範ともいべき取り組みを推進)
平成26年度	【茨城労働局長優良賞】 株式会社カスミ (つくば市) 東京フード株式会社 (つくば市)	該当なし
平成25年度		【茨城労働局長優良賞】 社会福祉法人泰仁会 (石岡市)
平成21～24年度	該当なし	
平成20年度	【茨城労働局長優良賞】 星光工業株式会社 (取手市)	該当なし
平成18～19年度	該当なし	
平成17年度	該当なし	【茨城労働局長賞】 筑波コンピュータサービス株式会社 (土浦市) ※旧社名：関銀コンピュータサービス株式会社
平成16年度	【茨城労働局長優良賞】 関東鉄道株式会社 (土浦市)	該当なし
平成15年度	該当なし	【茨城労働局長賞】 いばらきコープ生活協同組合 (小美玉市)
平成14年度	【茨城労働局長賞】 株式会社水戸京成百貨店 (水戸市)	該当なし
平成13年度	該当なし	
平成12年度	【茨城労働局長賞】 株式会社タナカ (土浦市)	該当なし
平成11年度	該当なし	【女性少年室長賞】 キャノン化成株式会社 (つくば市)

※ 平成11年度から平成18年度は、均等推進企業部門の名称は「均等推進企業表彰」、またファミリー・フレンドリー企業部門の名称は、「ファミリー・フレンドリー企業表彰」である。